

保育所における自己点検・自己評価

令和7年度

※今年度の本園の保育を総合的に評価し。次年度の保育計画に行かせる方向で記入してください。

[記入方法]

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に丸を付けてください。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた目標を設定している	○				
	(2) 目標は施設や地域の特色を生かしている	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映している	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしている	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、且、共通理解を図っている	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成している		○			子どもが主体的に運動用具を選び、使用できるような配置を工夫するとともに、継続的に使用状況を確認しながら改善を行う。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている		○			
	(3) 環境構成を意識した保育の工夫している		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用している		○			
	(5) 評価結果をもとに、保育の改善に努めている		○			
	(6) 1日の流れは現行でよい		○			
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切である		○			行事の狙い実施内容について、反省や評価を活かしながら、その年度の子どもの姿や実態に応じて見直しを行い、より充実した行事となるよう継続的な改善に努める。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		○			
	(3) 乳幼児の生活範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっている		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れている	○				

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能動的、効率的な運営組織になっている	○				
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっている	○				
		(3) 職員の配置は適材適所である	○				
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切である	○				
	運営	(1) 各種会議を適切且効率的に進めている		○			委員会の目的化活動内容、開催回数について検証し、園の実情に応じた効果的かつ効率的な運営となるよう見直しを行う。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっている	○				
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切である		○			
	年齢別	(1) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定している	○				
		(2) ねらいや目標を理解したチーム保育を行っている	○				
	安全指	(1) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	○				感染症発生時の対応手順や周知方法について再確認し、迅速かつ適切な情報共有が行えるよう継続的な改善に努める。
(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭へ啓発を行っている			○				
(3) 乳幼児の安全確保の為、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っている		○					
研修	(1) 園内研修の計画・運営は適切である	○					
	(2) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させている	○					
	(3) 研修の実践により乳幼児への理解が深まっている	○					
	(4) 研修、講習への参加体制の充実を図っている	○					
	(5) 研修、講習での内容を園内に還元している	○					
情報	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っている	○					
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っている	○					
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	○					
施設・運営	(1) 施設内外・設備の点検を計画的に行っている	○				園の課題や職員のニーズを踏まえた研修を計画し、保育の質の向上につなげる。	
	(2) 不審者に対応する周到な配慮を行っている			○			
	(3) 掲示板、掲示場所等を適切且効果的に活用している		○				
出納	経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理している	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流連携	(1) 他機関・施設との交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっている	○				園児の安全を最優先に考え、外部ボランティアの受け入れは実施していない。今後も安全管理体制を踏まえながら、適切な交流機会のあり方について検討していく。
		(2) 他機関・施設の幼児児童大人と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている	○				
		(3) 打合せを行い、互いの方針やねらい・内容について理解を深め、援助について共通理解を図っている	○				
		(4) 情報交換をし、それを交流活動に生かしている	○				
	の発	(1) 園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信している	○				
(2) 行事等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知している		○					